

平成30年度が今日から始まります。皆さんは学年が一つずつ上がり、2年生、3年生としての新たなスタートです。

1 学期の始業式にあたり皆さんに期待を込めてお話ししたいことが3つあります。

一つは「当たり前のことを当たり前にする」ということです。

みんなで気持ちの良い挨拶をする。制服をきちんと着る。時間を守る。授業にしっかり取り組む。提出物を期限までに出す。掃除をしっかりやるなどのことは、学校生活の中で日々行われる当たり前のことです。

そこで、「そんなこと出来ているよ！」と思う人は、

当たり前のことをやることは、なぜ行うのか、どうして？誰のため？まで深く考えてみてください。

ただ何となくだらだらと成り行きで生活していたのでは成長することはできません。当たり前にするためには、意識的に行動しなければなりません。当たり前にやろうという意思を持って取り組む、そして継続して取り組むことは確実に成長につながると思います。

二つ目は達成可能な目標を決めて努力するということです。

たとえば英語検定〇級に合格にという目標を決めたとします。英語の勉強をするのに、わら半紙にびっしりと単語や英文を書いて覚えるということも良いと思います。完璧になるまで何回も練習すれば目標は達成できると思います。小さな目標をクリアすることを積み重ねていけば、やがては大きな力と自信となります。ちなみに私の目標は、県のシニアのゴルフ大会で優勝することです。

三つめは高校生活の中でいい人間関係を築いてくださいということです。

私たちは、生徒同士も生徒と先生もそうですが、縁あって出会い、富士見高校で同じ時間、同じ空間を共有し、一緒に学んでいます。時にはぶつかり合い、気まずいことになることもあると思いますが、互いに色々な経験をして、悩んだり考えたり我慢したり、喜んだり楽しんだりする中で人間関係を学んでいくのだと思います。学校という場で、集団で学ぶ意義の一つに「人間関係を学ぶ」、「互いに影響し合い高め合う」ということがあると思います。

昨年、本校では数件のいじめ事案が認知され、苦しんでいる生徒に対して先生たちも解決に向け努めました。

差別やいじめ、暴力。人を傷つけるような言動は絶対に許されないことです。冗談のつもり、ふざけただけと思っても、相手を傷つけるようなことは絶対にいけません。暗い嫌な思いのマイナス方向に進むのではなく、前向きにプラスに、互いに相手を思い、いい人間関係を築く努力をしてほしいと思います。

二月に行われた平昌（ピョンチャン）オリンピックで、スノーボード・ハーフパイプで銀メダルを獲った、平野歩夢選手を皆さんは覚えていますか。「ダブルコーク1440」の連続技に成功し金メダルかと思われたら、最後に滑ったショーン・ホワイトに逆転され、結局銀メダルでした。

彼は、試合後のインタビューで「前回も銀メダルで、上を目指すために4年間かけて練習してきたので、ちょっと悔しさは残っていますが、自分が今できる範囲の中では全力でやれた」とコメ

ントしています。

そして、大会後に日本に帰ってきて空港でのメダリストだけの公式インタビューでも彼は同じことを言っていました。さらに驚いたことに、大会では滑り終わった彼はヘルメットを外すと個性的な髪形でピアスを付けていましたが、空港ではピアスを外していました。その後のあらゆる公式の報告会でも同じでした。

私は、公私のけじめがつけられるような平野歩夢選手を、これからも応援したいと思います。

皆さんは一人ひとりがいろいろな可能性を持っています。その能力を少しでも伸ばしていけるよう先ほど紹介した新しいメンバーを加え、先生方とはことん付き合います。口やかましいことも言うことがあるかもしれません。

みなさんが、カッとなった時は、小平奈緒選手や平野歩夢選手のしぐさを思い出してください。

皆さんが1学期、元気に活躍してくれることを期待して始業式のお話とします。